

平成22年4月22日

自動列車停止装置（ATS-P形）導入の進捗について

当社では平成18年度に、より高機能な自動列車停止装置（ATS-P形）を在来線全線区に導入することを決め、平成23年度内までに順次使用開始できるよう工事を進めています。これまで順調に工事が進み、このたび最初の使用開始箇所における地上装置の設置が完了しました。

引き続き、全線にわたるATS-Pの設置を確実に実施していきます。

1. 工事の進捗状況（別紙参照）

(1) 地上装置

今回設置が完了した区間

- ・中央線 山王信号場（金山駅）～新守山駅間
4月24日よりATS-P搭載の貨物列車を対象に使用開始
（※旅客列車は平成23年1月から順次使用開始予定）
- ・関西線 八田駅～桑名駅間
6月までに使用開始予定

(2) 車上装置

- ・整備対象759両のうち、平成22年3月末時点で557両（約73%）への設置が完了
- ・今年度中に一部の気動車を除く全ての車両への設置を完了予定

2. 導入スケジュール

旅客列車については、以下のスケジュールで当該区間すべての地上装置及び車上装置が共に使用開始となった箇所からATS-Pに切替えます。

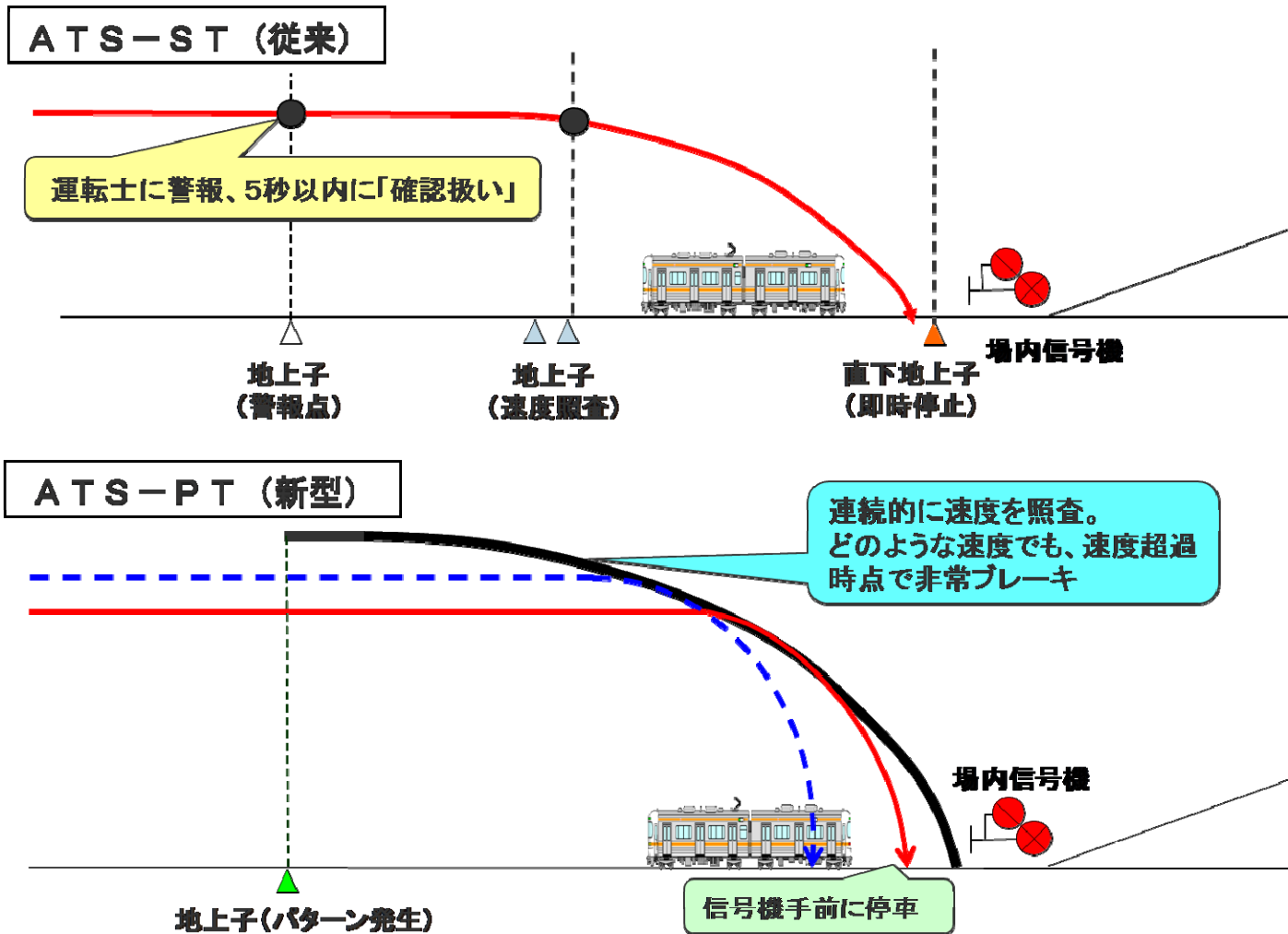
(1) 平成22年度内導入線区…平成23年1月から順次使用開始予定

- ・中央線（名古屋駅～中津川駅間）
- ・関西線（名古屋駅～河原田駅間）
- ・東海道線（熱海駅～米原駅間、大垣駅～美濃赤坂駅間）
- ・高山線（岐阜駅～美濃太田駅間）
- ・飯田線（豊橋駅～小坂井駅間）

(2) 平成23年度内導入線区

- ・上記以外の全線区

ATS-STとPTの機能比較



＜参考＞ ATS-PTの概要

- ・現在のATS-STのように地上装置による点制御ではなく、ブレーキパターンによる連続制御を行うものです。
- ・地上装置の情報から、車上装置で信号機や速度制限箇所までの距離に対応したブレーキパターンを発生します。
- ・列車速度がこのパターンを超過した場合は、自動的に非常ブレーキが作動し、列車を信号機や速度制限箇所の手前までに停止させます。

ATS-PT地上装置



ATS-PT車上装置



ATS-PT地上装置使用開始スケジュール

※ ATS-PT車上装置は、平成23年1月より使用開始予定



平成22年度 ATS-PT地上装置 使用開始予定	平成23年度使用開始予定
4月~6月	7月以降